

2019年7月、2020年1月、そして2021年4月と7月に、居住させていた
ている日本館大ホールにてステンドグラスと絵画の個展を開催する機会をい
ただきました。

私はステンドグラスの、主にガラスへの絵付け技法を研究するためにフラン
スに留学しました。

展示したステンドグラスは10世紀前半にフランスで作られていたものとほと
んど技法を同じくして作られています。

フランスにおいてステンドグラスは、教会や市庁舎、劇場といった人々が集
う公共の空間を、そしてときに個人宅で私的な空間を彩る芸術として、人々の
暮らしに寄り添い、ともに歩んできました。

ステンドグラスの歴史に携わるものとして、私も作品を通じて見てくださ
った方の心を優しく彩ることができればと願い、日々の制作に励んできました。
ご来場いただいた方に、お楽しみいただけたのなら幸いです。

長きにわたり日仏間の文化交流の重要な場となってきた日本館での展示に、4
回の展示とも襟を正す思いで制作に取り組みさせていただきました。最後に、展
覧会の開催にご協力下さったすべての方、そしてお忙しい中ご足労いただきま
した皆様に、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

2021年9月29日 中村愛子

(2019年9月～2021年9月日本館居住。ステンドグラス研究・制作)





